

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-2		事業名	東西線可動式ホーム柵設置事業			
担当	交通局高速電車部施設課 平野 896-2753						
全体計画							
事業内容	<p>可動式ホーム柵は、列車のドアに連動して開閉するホームドアをホーム先端から約30cmの位置に、高さ130cm(ドア部高さ120cm)で列車全ドア毎にホームドアを設置し、ホームから走行路面への転落および列車との接触事故を防止するため、平成21年3月までに東西線全駅に設置する。</p> <p>また、安全対策として、可動式ホーム柵と車両の間に、お客様の居残りがいないことを検知するセンサーを設けるなどの配慮も十分に行っている。</p> <p>平成17年度より検討を行い、平成18年度に実施設計を完了し、平成19年6月に工事の着手をした。また、南郷7丁目の中線ホームには平成19年度末までに先行設置を行い、試験ならびに教習用としても活用し平成20年9月頃から順次、各駅に設置する。</p>			<年度別の事業内容>			
				平成19年度	工事の着手 南郷7丁目の中線ホームに先行設置		
			平成20年度	5月下旬より南郷7丁目の中線ホーム運用開始 9月以降より順次、各駅に設置			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	19年7月に工事に着手した。南郷7丁目の中線ホームには、試験ならびに教習用としても活用する目的で、20年3月末に先行設置した。			20年9月上旬の新さっぽろ駅から順次、各駅に設置をし、21年3月末までに東西線全19駅に設置する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
可動式ホーム柵の設置駅数		-	0駅 (1ホーム)	19駅	/	/	19駅 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-3-2		事業名	東西線可動式ホーム柵設置事業			
評価(成果)			課題				
南郷7丁目の中線ホームに先行設置したホーム柵により、お客様に対する安全性を確認できた。			20年9月から21年3月までの短期間で東西線全19駅の設置工事を行うため、工事中のお客様の安全確保に努める。				
今後の事業の予定・方向							
平成20年度中に東西線可動式ホーム柵設置事業が完了するが、引き続き、南北線(16駅)は平成25年度までに、東豊線(14駅)は平成30年度までに設置を予定している。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	413,600	2,913,400	0	0	3,327,000	
	財源内訳	国・道支出金	57,000	631,000	0	0	688,000
		市債	356,600	2,282,400	0	0	2,639,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
予算	事業費	413,600	2,189,846	-	-	2,603,446	
	財源内訳	国・道支出金	57,371	376,670			434,041
		市債	356,229	1,805,049			2,161,278
		その他	0	8,127			8,127
		一般財源	0	0			0
実績	事業費	385,618	-	-	-	385,618	
	財源内訳	国・道支出金	48,655				48,655
		市債	336,963				336,963
		その他	0				0
		一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				77.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 計画事業費と予算の差異は工事契約差金による。							
[19年度] 予算・事業内容・規模・時期等ともに計画との差異はない。							
[20年度] 計画事業費と予算の差異は、19年度の工事契約差金による。							